



# 2014 – 2019

## JICA-PNGFA PROJECT

気候変動対策のためのPNG森林資源情報管理システムの  
活用に関する能力向上プロジェクト

Capacity Development Project for Operationalization of  
PNG Forest Resource Information Management System (PNG-FRIMS) for Addressing Climate Change



©JAXA

## プロジェクト沿革

### 背景

パプアニューギニア(以下、「PNG」)は世界有数の熱帯雨林保有国であり、その森林は輸出品目として重要な木材生産の場であるとともに、豊かな生物多様性を有している。また、近年はそれら森林が気候変動の緩和に果たす役割も大きく期待されている。一方で、PNGにおいては森林の急速な減少・劣化が懸念されているにもかかわらず、森林の状態を継続的・客観的に把握する手段がなかった。

このため、PNG政府の要請により、日本政府の無償資金協力による資機材の供与と連携して、2011年3月から2014年3月まで、3年間のJICA技術協力プロジェクト「気候変動対策のための森林資源モニタリングに関する能力向上プロジェクト」(以下、「先行プロジェクト」)が実施された。

### 先行プロジェクト(2011-2014)の成果

先行プロジェクトでは、「全国森林基盤図(2012)」が作成され、37百万ヘクタールに及ぶ森林の減少・劣化についての更なるモニタリングの必要性が明らかにされたほか、衛星リモートセンシング技術と地理情報システムをベースにした「森林資源情報管理システム」(以下、「PNG-FRIMS」)の更新や、衛星レーダー技術を用いた森林・炭素モニタリング手法の開発、が行われた。また、PNG国の「森林」を定義する閾値の決定に貢献した。

### 新プロジェクト(2014-2019)

これらの背景のもと、先行プロジェクトの成果を受けて、PNG政府からの要請により、森林の持続可能な管理を推進するとともに気候変動に対処するため、PNG森林公社(PNGFA)が、PNG-FRIMSを活用しつつ森林についての情報を継続的に更新していく能力を向上させることを目的として、2014年8月より5年間のJICA技術協力プロジェクト「気候変動対策のためのPNG森林資源情報管理システムの活用に関する能力向上プロジェクト」が新たに開始された。

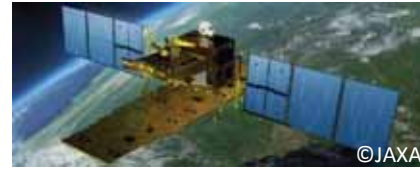
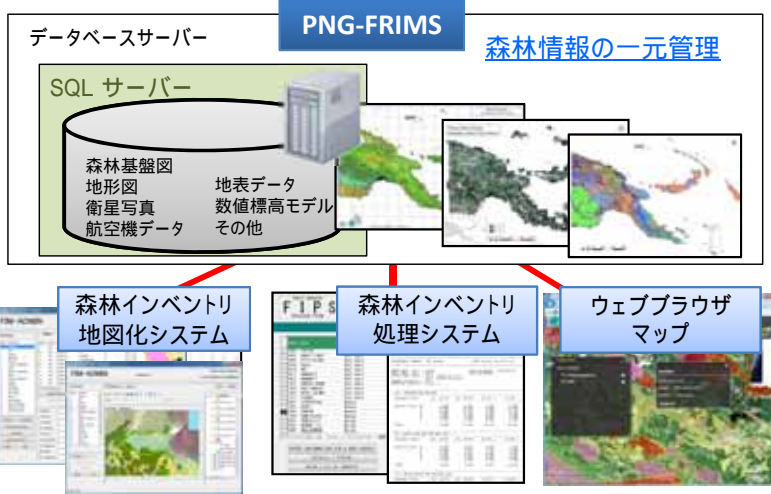


# プロジェクト活動内容(2014-2019)



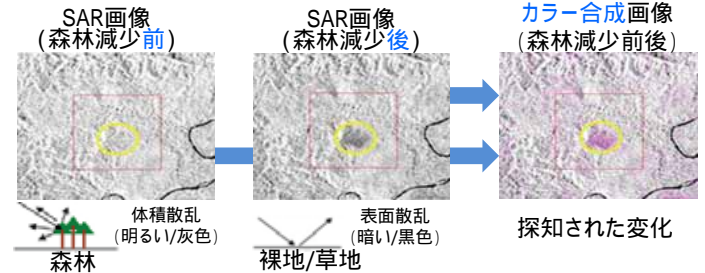
## 活動1 森林資源情報管理システム(PNG-FRIMS)の拡充・強化

**基本方針:** 日本の衛星技術及びPNG国の地上データを活用した森林情報の更新  
**課題:** 整備された森林情報の定期的な更新とそれによる森林モニタリング



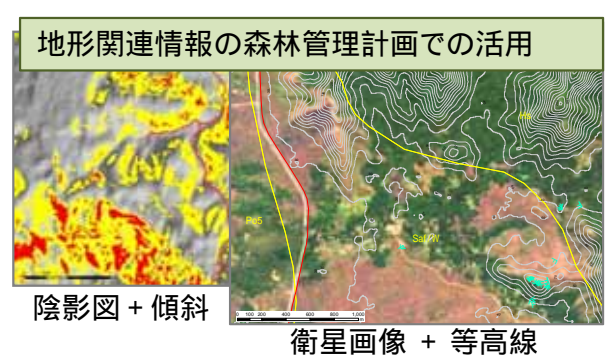
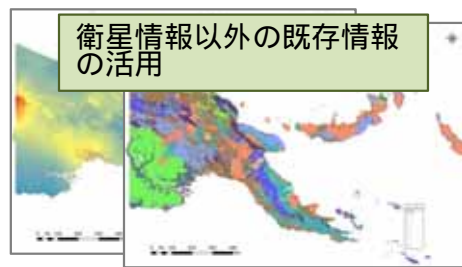
日本のレーダー衛星(ALOS-2)を活用した森林変化モニタリング(基盤図更新)

ALOS-2 (2014年5月打上成功)



## 活動2 PNG-FRIMSの着実な運用による国家森林計画、州森林計画、森林施業計画及びそのモニタリング体制の改善

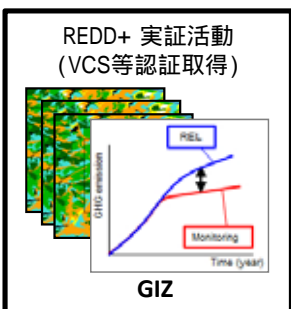
**基本方針:** 森林保全・管理計画及びREDD+への支援  
**課題:** 整備された森林情報の森林保全管理活動への活用



森林管理計画策定と実施に向けた森林基盤図及びデータベース(DB)の改善と活用

## 活動3 REDD+に取り組むための森林情報の整備

**基本方針:** 全国森林基盤図及びDBの活用による関連機関及び他ドナー支援活動との連携  
**課題:** 関係機関及び他ドナー支援活動における成果の活用



全国森林基盤図及びDBによる国家森林インベントリ及びREDD+国際報告支援

全国森林基盤図及びDBを活用した森林保全活動及び行政支援

PNG森林公社 (JICA Project)

最終更新: 2015年 1月

住所: P.O.Box 5055, Boroko, National Capital District, Papua New Guinea

Eメール: cbigol@pngfa.gov.pg / twatanabe@pngfa.gov.pg

JICA Project ホームページ: <http://www.jica.go.jp/png/english/activities/activity12.html>

